

TOTO

小型電気温水器(先止め式)

湯ぽっと

品番 REW06/12/25-D型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意

安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
この施工説明書では、商品を正しく取り付けただき、使用者への危害や財産への損害
および工事者への危険を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示は、
次のようになっています。
内容をよく理解して正しく取り付けてください。

表 示	意 味
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡 または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を 負う可能性および物的損害のみの可能性が想定される内容 を示しています。

絵表示については次の意味があります。

絵表示	意 味	絵表示	意 味	絵表示	意 味
	一般的な禁止		アースを 接続せよ		必ず実行

取付工事完了後、施工説明書に記載の「試運転」に従って各部の点検を行い、器具の
ガタつきや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

商品に同梱されている「取扱説明書（保証書付）」は、使用者に商品を正しく安全に
使用していただくための重要な書類です。紛失したり汚れたりしないように大切に保
管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。
なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

警告

	修理技術者以外の人、この説明書に記載された項目以外は絶対に 分解・修理・改造は行わない 感電や故障の原因になります。
	水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に 浴室やシャワールームには使用しない 故障、感電の原因になります。
	指定する電源以外は使用しない ヒーターの断線・火災などの原因になります。
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない 感電・火災の原因になります。
	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
	コードを乱暴に扱ったり、ガタついているコンセントに差し込まない 火災の原因になります。
	水・油・洗剤などがかかる位置に電源プラグ用のコンセントを設けない 感電の原因になります。
	電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者（電気工事士）」 が行い、アース（D種接地工事100Ω以下）工事を行う 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

1 安全上の注意 (つづき)

警告



必ず実行

漏電遮断器を取り付ける
感電火災の原因になります。

開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する
段ボールやビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。

中継コードを接続する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

注意



禁止

水道水以外は、通水しない
井戸水などを通水すると腐食などにより水漏れするおそれがあります。

タンク内に水がないときは、絶対に「沸上げ運転」スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

商品に強い力や衝撃を与えない
故障や水漏れの原因になります。



必ず実行

給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。

排水管は耐熱性のものを使用する
熱による変形や割れなどで水漏れするおそれがあります。

凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く
「14.機器内の水抜き」を参照ください。
凍結破損し、水漏れのおそれがあります。

必ず連結配管内の水抜きがスムーズにできる勾配で取り付ける
凍結した場合、破損し水漏れするおそれがあります。

水抜きを行うときは、必ず「沸上げ運転」スイッチを「切」にする
空焚きとなり、故障・やけどの原因になります。

フィルター付き止水栓の掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、
止水栓を閉めてから行う
水が噴き出して、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

おねがい

給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05MPa・最高水圧(静止時)0.75MPa
(自動水栓との接続の場合およびシングルレバー水栓2連設置の場合は最低必要水圧(流動時)0.1MPa・最高水圧(静止時)0.75MPa)です。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。

必ずフィルター付きアングル形止水栓(必要別売品)を取り付けてください。

必ず膨張水処理用排水ホッパー(必要別売品)を取り付けてください。

取扱説明書内の保証書に、お買上げ店または工事店名およびお引渡し日を必ず記入してください。

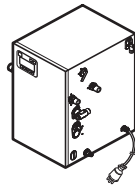
空焚き、施工上の不具合は当社では責任を負いかねます。万一施工に起因する不都合が生じた場合は、貴店の保証規定によって修理していただくようお願いいたします。

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
(鋼管などで接続されると、シール剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。)

天井裏など日常点検ができない場所への設置は避けてください。

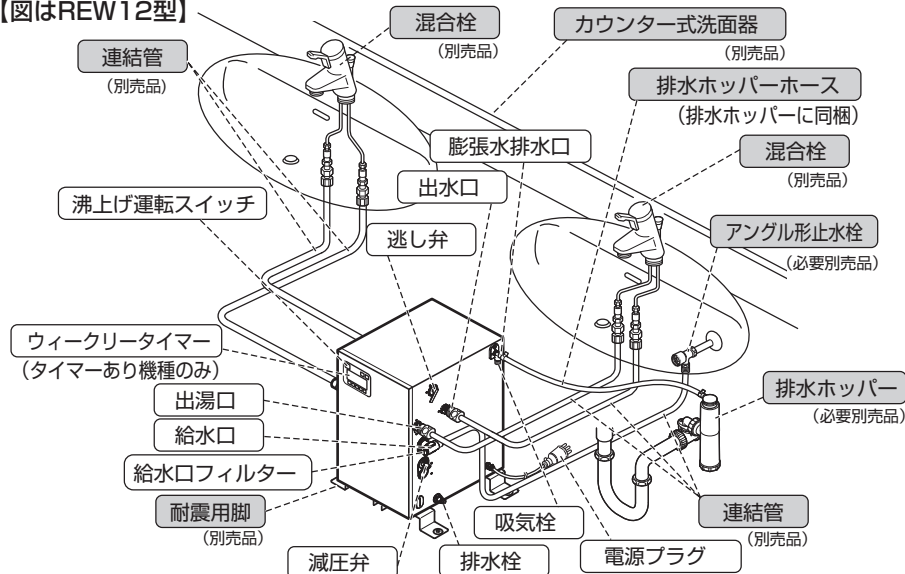
2 部品の確認

まず、次の部品があることを確認してください。

①電気温水器本体	②水抜きチューブ、取扱説明書(保証書付)、施工説明書
 図はREW12型を示す。 ※機種により形状が異なります。	 L=300mm お客様にお渡しください

3 各部の名称

【図はREW12型】

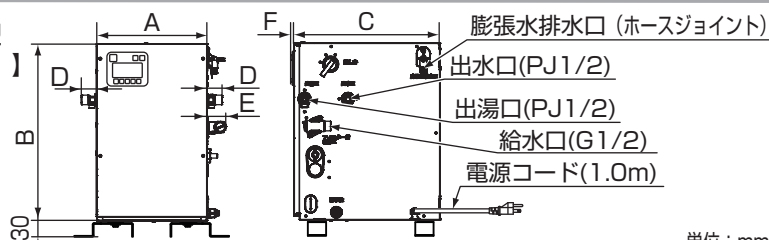


4 仕様

- 給水方式 : 先止め式(減圧弁、逃し弁内蔵)
- 沸上がり温度 : 約75℃固定
(おまかせ節電保温時 約60℃または約55℃)
- 出湯温度 : 約36℃(温度範囲 約30~40℃)
(給水温度15℃時)
- 使用可能環境温度 : 1~40℃
- 安全装置 : 温度過昇防止器
(手動復帰式バイメタル)
温度ヒューズ
- 最低必要水圧(流動時) : 0.05MPa
- 最高水圧(静止時) : 0.75MPa
(自動水栓と接続する場合およびシングルレバー水栓2連設置する場合は最低必要水圧(流動時) 0.1MPa・最高水圧(静止時) 0.75MPaです。)
- ※REW12型、25型は2連設置まで可能
- 詳しくは取扱説明書を参照ください。

5 寸法図

【図はREW12型
(タイマーあり)】



	幅(A)	高さ(B)	奥行(C)	出湯口出代(D)	給水口出代(E)	前面出代(F)
REW06型	175		273	33(右側のみ)		
REW12型	242	390	319	33	41	3(7)
REW25型	360		395			

()内はタイマーなし

6 別売品一覧

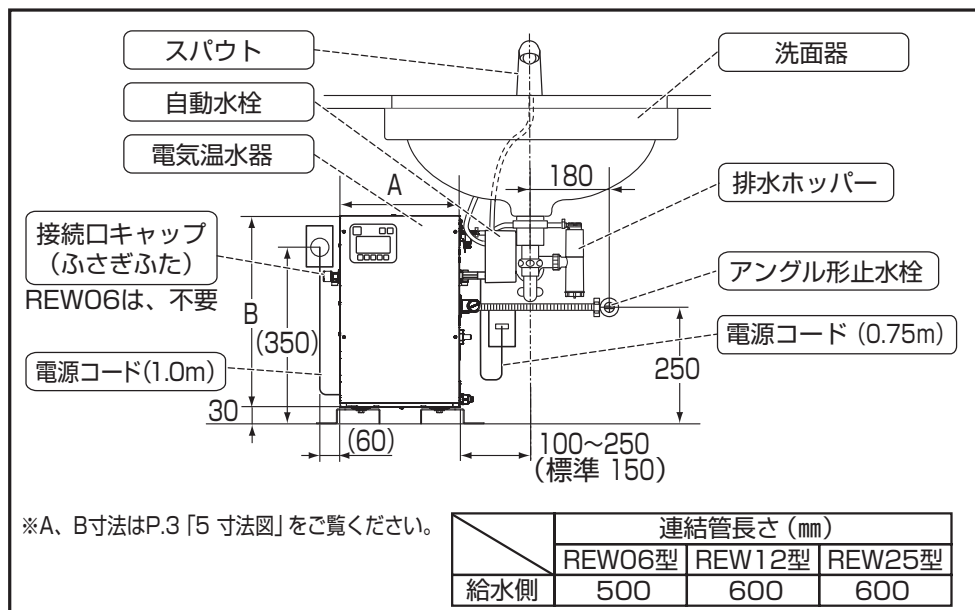
★は、必要別売品です。

品名	品番	備考
★排水ホッパー	密閉式 RHE97H-38	排水配管φ38の場合
	RHE97H-32	排水配管φ32の場合
	RHE97H-25	排水配管φ25の場合
	開放式 RHE22H-32	排水配管φ32の場合
★アングル形止水栓	TL347CU	給水用フィルター付き(壁給水用)
	TL347C1R	給水用フィルター付き(床給水用)
湯ぽと耐震用脚	RHE706	耐震施工する場合に使用
	RHE707	床用※ キッチン用
自動水栓取付用脚	RHE654	接続口キャップ(ふさぎふた) 1個入 接続口に自動水栓(単水栓タイプ)を 直接取り付ける場合に使用
	TN74-2R	1個入 壁固定用
中継コード	RHE675-40	L4000mm(1本) 電気温水器2台連動用
接続口キャップ (ふさぎふた)	TH651	水栓を1個接続する場合に使用(6Lは除く)
連結管	RHE700 (6L用)	L200mm×1本 出湯側 L200mm×1本 出水側 L500mm×1本 給水側 ニップル×2個
	RHE701 (6L以外用)	L200mm×1本 出湯側 L200mm×1本 出水側 L600mm×1本 給水側 ニップル×2個 接続口キャップ×2個
	RHE702 (6L以外用)	L200mm×2本 出湯側 L200mm×2本 出水側 L600mm×1本 給水側 ニップル×4個
	TN65-8 (6L用)	L450mm×1本 出湯側 L750mm×1本 出水側 L600mm×1本 給水側
	RHE140	L850mm×1本 延長用

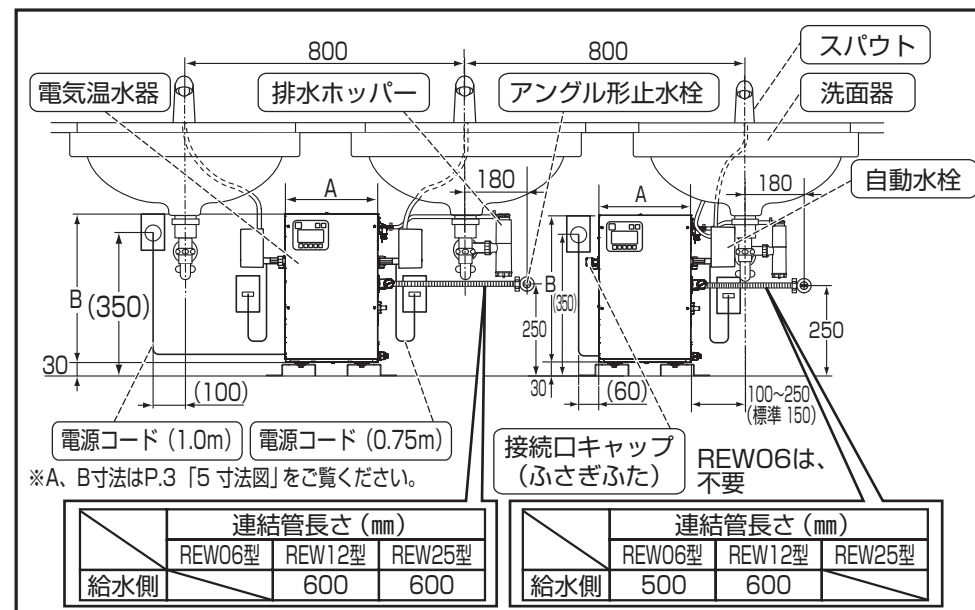
※水に浸るおそれがある場合は、RHE706をご使用ください。

7 施工例

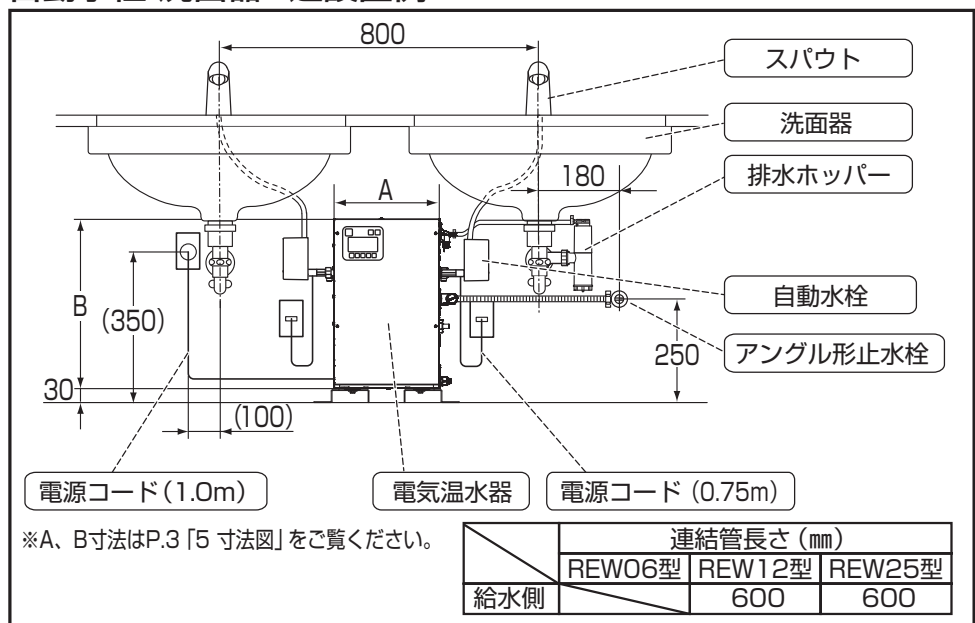
自動水栓 洗面器1連設置例



自動水栓 洗面器3連設置例



自動水栓 洗面器2連設置例



8 電気温水器本体の設置



警告



屋内用のため、屋外には設置しない
感電や故障の原因になります。



水がかかったり、表面に結露を生じるような湿気の多い場所、特に浴室やシャワールームには使用しない
感電や故障の原因になります。

満水質量が15kgを超える場合は、下記いずれかの方法で施工してください。

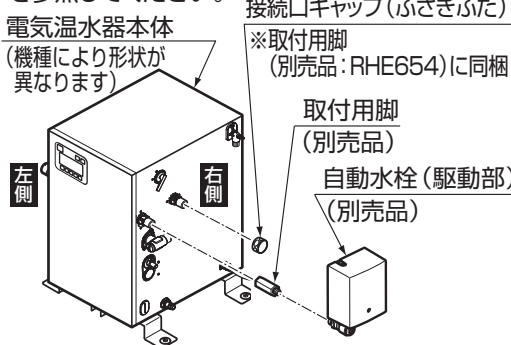
①丈夫な壁で囲うなどの転倒防止工事を現場で行う。

②弊社別売品(耐震用脚)を使用して施工する。

■自動水栓（駆動部）の取り付け

《電気温水器本体に取り付ける場合》

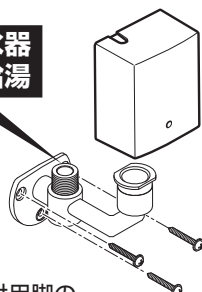
自動水栓取付用脚（別売品：RHE654）が必要です。取付方法は別売品に同梱の「施工説明書」を参照してください。



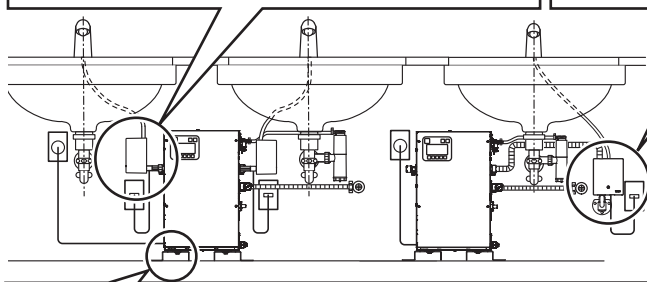
《壁に取り付ける場合》

自動水栓取付用脚（別売品：TN74-2R）で自動水栓を壁に固定し、取り付ける。

電気温水器からの給湯



※自動水栓取付用脚の取付方法は、取付用脚に同梱の「施工・取扱説明書」を参照してください。



《床に直置きする場合》

床に直置きする場合は別売品の耐震用脚（RHE706）をご使用ください。取付の際は必ず耐震用脚に同梱の「施工説明書」を参照してください。

9 連結管（別売品）の取り付け

注意

給水管にはフレキシブル管をご使用ください。
(鋼管などで接続されると、シーリング剤などが内部に入り作動不良を起こす場合があります。)

建築躯体側配管接着剤が乾燥していない状態で電気温水器を取り付けしないでください。
(接着剤が乾いていない状態で湯を通すと湯がにょうすることがあります。必ず接着剤が乾いていることを確認してから取り付けてください。)

■混合栓（別売品）および止水栓（別売品）に連結管を接続する

※混合栓の取付方法は、混合栓に同梱の「施工説明書」を参照してください。



注意



給水口に接続する前に必ず、配管内のゴミなどを取り除くため止水栓を開けバケツ2杯(約20L)程度の水を捨てる
フィルターを通ったゴミが機器内に入り、故障や水漏れの原因になります。



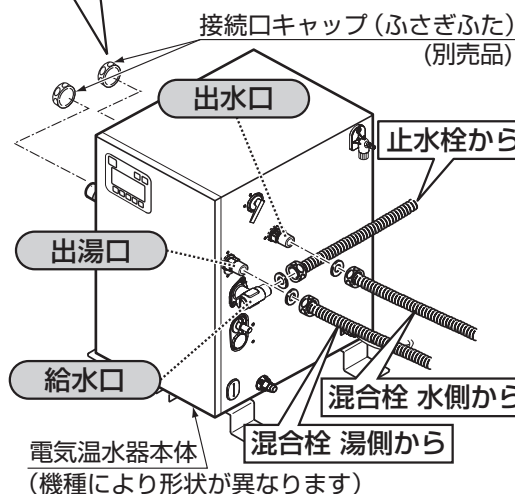
注意

混合栓水側への給水配管は、必ず電気温水器の出水口より接続してください。
(減圧弁の故障の原因になります。)

■下図の要領で連結管（別売品）を電気温水器本体に接続する

《1連設置の場合》

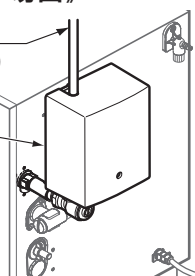
電気温水器本体左側の出湯口、出水口を接続口キャップ（ふさぎふた、別売品：TH651）でふさぐ。(6Lは除く)



《自動水栓設置の場合》

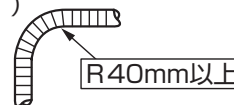
連結ホース
(スパウトに付属)
自動水栓
(駆動部)

※連結ホースの接続は、自動水栓に同梱の「施工説明書」を参照してください。



注意

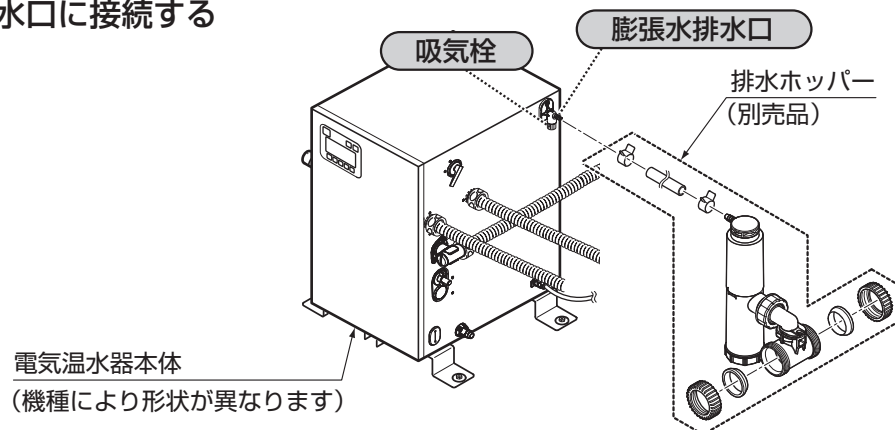
連結管は、極端に折らないでください。
(R40mm以上は確保してください。)



連結管は、電気温水器側が下り勾配になるように接続してください。

10 排水ホッパー(別売品)の取り付け

■下記の要領で排水ホッパー(別売品)を電気温水器本体の膨張水排水口に接続する



注意 排水ホッパーは必ず、電気温水器1台につき、1個取り付けてください。
排水ホッパーの取り付けは、排水ホッパーに同梱の「施工説明書」に従って取り付けてください。

11 中継コードの接続 (タイマーあり商品のみ)



警告

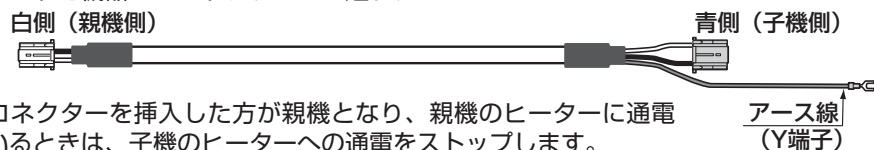


中継コードを接続する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く感電の原因になります。

注意 必ず専用の中継コード(別売品: RHE675-40)をご使用ください。

■中継コードでタイマーあり電気温水器を連動させる場合は、下記の手順で中継用コードを接続する

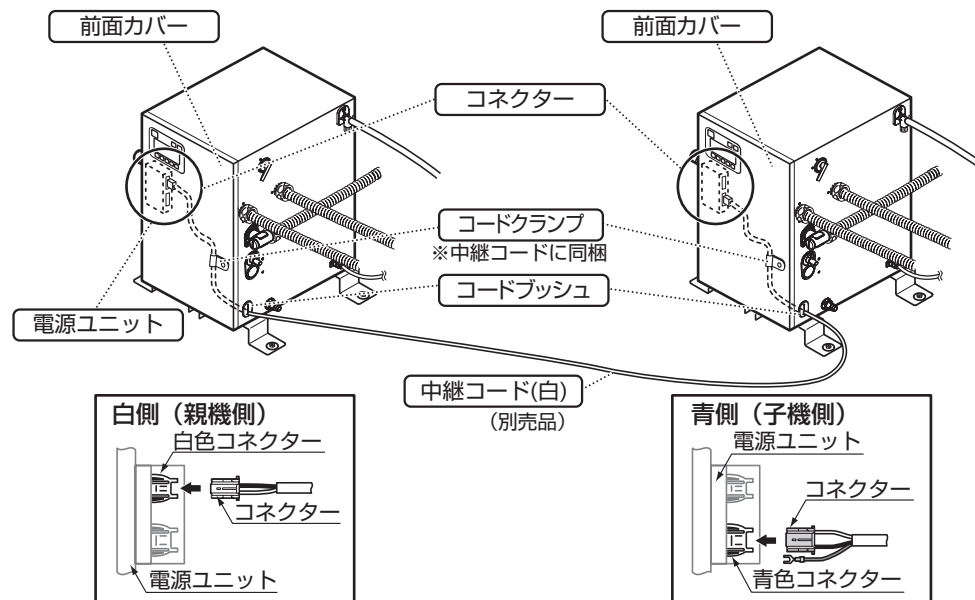
- ①「沸上げ運転」スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜く。
- ② 中継コードを機器のコードブッシュに通す。



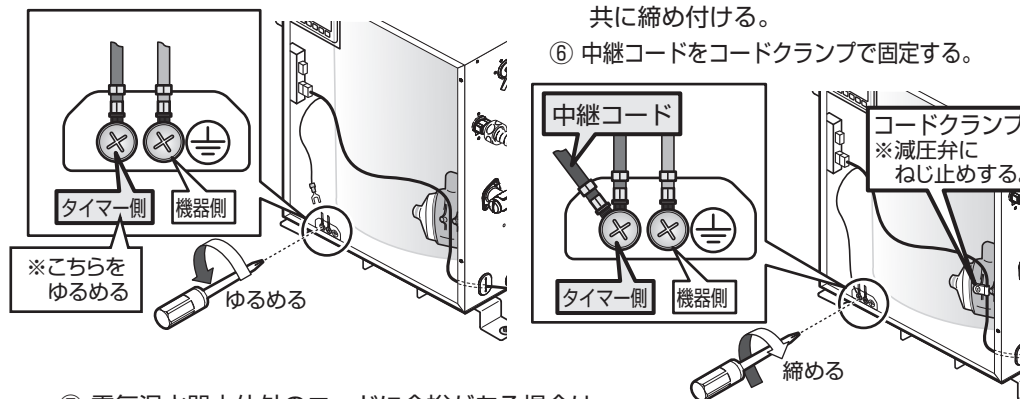
白のコネクターを挿入した方が親機となり、親機のヒーターに通電しているときは、子機のヒーターへの通電をストップします。

11 中継コードの接続 (タイマーあり商品のみ) (つづき)

- ③ 電気温水器本体の前面カバーを取り外し、電源ユニットのコネクターに挿入する。



- ④ 子機側のアース端子を締結しているねじ(タイマー側)をゆるめる。
- ⑤ 中継コードのアース端子をタイマー側に挿入し、タイマー側のアース端子と共に締め付ける。
- ⑥ 中継コードをコードクランプで固定する。



- ⑦ 電気温水器本体外のコードに余裕がある場合は、市販のコードフックなどで、壁やカウンター裏など目立たない場所に固定する。
※使用時や掃除などのじゃまにならないように配慮してください。

注意

電気温水器1台につき、白(親機用)と青(子機用)のコネクターを1つずつ搭載しています。お客様のご要望に応じた親子設定が可能です。

電気温水器は2台まで連動できます。

12 電気工事

警告



指定する電源以外は使用しない
ヒーターの断線・火災などの原因になります。



電気工事は、関連する法令、法規に従って必ず「有資格者(電気工事士)」が行い、アース(D種接地工事100Ω以下)工事を行う
誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。



漏電遮断器を取り付ける
感電火災の原因になります。

- 1) 電源が規定の電圧であることを確認する。
※規定の電圧以外での使用は故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。
- 2) 接地極付電源プラグになっていますので、必ず、対応したコンセント工事と電源容量を確保する。

	品番※	電圧	消費電力	電源プラグ	対応コンセント
REW06型	REW06A1**	AC100V	1.1kW	125V/15A 	WK3001W(露出型) : パナソニック WF3002EK(埋込み型) : パナソニック
	REW06A2**	単相AC200V		250V/20A 	WK2520B/W(露出型) : パナソニック WF2520B/W(埋込み型) : パナソニック
REW12型	REW12A1**	AC100V	1.5kW	125V/15A 	WK3001W(露出型) : パナソニック WF3002EK(埋込み型) : パナソニック
	REW12B2**	単相AC200V		250V/20A 	WK2520B/W(露出型) : パナソニック WF2520B/W(埋込み型) : パナソニック
REW25型	REW25A1**	AC100V	1.1kW	125V/15A 	WK3001W(露出型) : パナソニック WF3002EK(埋込み型) : パナソニック
	REW25C2**	単相AC200V	2.0kW	250V/20A 	WK2520B/W(露出型) : パナソニック WF2520B/W(埋込み型) : パナソニック

※品番は、電気温水器本体前面の銘板で確認してください。

13 試運転

注意



タンク内に水がないときは、絶対に「沸上げ運転」スイッチを入れない
空焚きとなり、故障や事故の原因になります。

注意

機器の減圧弁・逃し弁にゴミが付着すると、膨張水排水口から微量の水が流れ続ける場合があります。

そのような場合は以下の操作を行ってください。

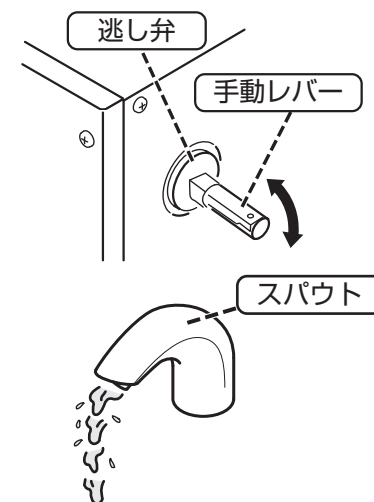
- 1) 逃し弁のレバーを立てて、膨張水排水口から1分間ほど水を排出させ続けてください。
- 2) 逃し弁のレバーを元に戻して、蛇口を閉めたときに、膨張水排水口から水が流れ続けなかったことを確認してください。

(注) 流れ続ける場合は上記操作を再度行ってください。

1) 電気温水器への給水

《自動水栓(単水栓)の場合》

- ① 止水栓を開ける。
- ② 逃し弁の手動レバーを引き上げる。
- ③ 排水ホッパーから水が出始めたら逃し弁の手動レバーを元に戻す。
- ④ 自動水栓のスパウトのセンサーを作動させ水の出方が安定してくると、タンクは満水です。
(タンクが満水になるまでは空気を巻き込みながら断続的に水が出ます。)
- ⑤ 配管接続部からの水漏れがないことを確認する。



《シングルレバー混合栓および2ハンドル混合栓の場合》

- ① 止水栓を開ける。
- ② 混合栓の水側を閉め、湯側を全開にする。
※混合栓から安定して水が出始めるとタンクは満水です。
- ③ 混合栓を閉める。
- ④ 配管接続部からの水漏れがないことを確認する。

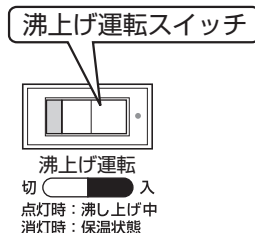


13 試運転 (つづき)

2) 電気温水器への通電 空焚き禁止

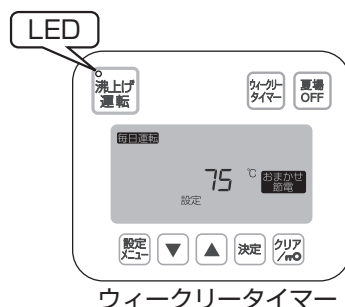
《タイマーなし》

- ①タンクが満水になったことを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ②沸上げ運転スイッチを「入」にし、ランプが点灯することを確認する。



《タイマーあり》

- ①タンクが満水になったことを確認し、電源プラグをコンセントに差し込む。
- ②  スイッチを押して、LEDが点灯することを確認する。

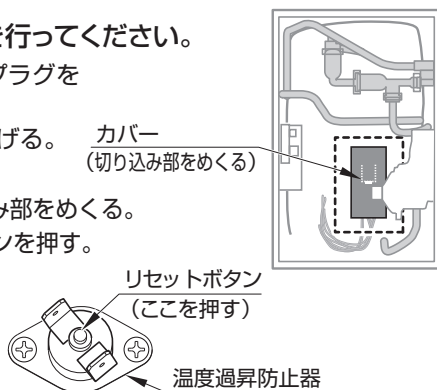


ウィークリータイマー

空焚きリセット方法

※万一空焚きをした場合は、以下の処置を行ってください。

- ①沸上げ運転スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②タンクに水を入れて、タンク内の温度を下げる。
- ③前面カバーを取り外す。
- ④温度過昇防止器を覆っているカバーの切り込み部をめくる。
- ⑤タンク側面の温度過昇防止器のリセットボタンを押す。
- ⑥前面カバーを取り付ける。
- ⑦電源プラグをコンセントに差し込み、沸上げ運転スイッチを「入」にする。



注意

止水栓、給水口のフィルターにゴミが詰まると故障の原因になります。試運転後、フィルターの掃除を行ってください。(掃除の方法は、取扱説明書を参照してください。)

減圧弁、逃し弁は消耗品です。劣化により機能の低下や水漏れする可能性があります。必ず定期的に交換するよう、お客様に説明してください。

14 機器内の水抜き

注意



凍結のおそれがある場合は、電源プラグを抜いてタンク内の湯を抜く。凍結破損し、水漏れのおそれがあります。

《水抜き手順》

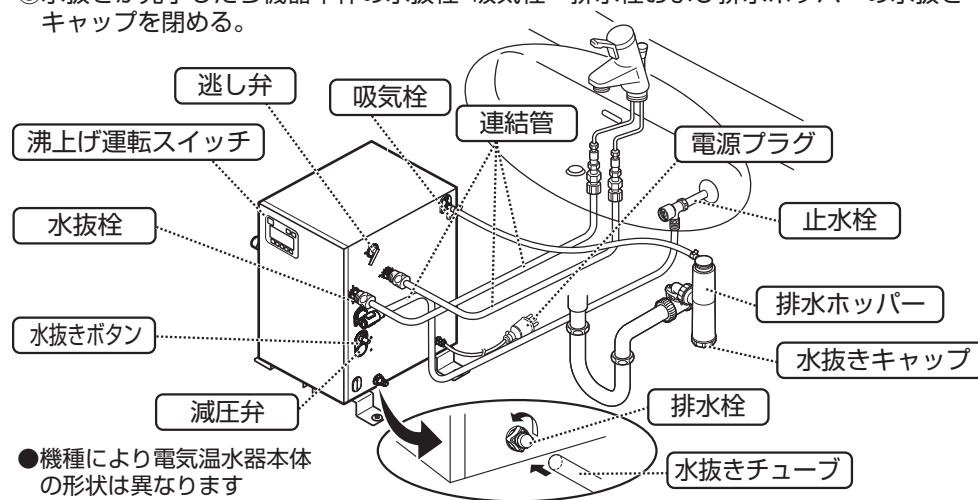
- ①「沸上げ運転」スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。
- ②混合栓の水側および湯側を開け、湯が水になるまで出す。
(注) タンク内に湯が残っているとやけどをするおそれがあります。
- ③止水栓を閉める。
- ④逃し弁の手動レバーを引き上げる。
- ⑤出湯口の水抜き栓および膨張水排水口の吸気栓を開け、連結管内の水を抜く。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑥電気温水器の排水栓に付属の水抜きチューブを差し込み左に回し、タンク内の水を抜く。

注意 水を抜く際は、必ず受け皿などで受けてください。

- ⑦減圧弁の水抜きボタンを押し、配管および減圧弁内の水を排水栓より抜く。
- ⑧排水ホッパーの水抜きキャップを外し、排水ホッパー内の水を抜く。
- ⑨水抜きが完了したら機器本体の水抜き栓・吸気栓・排水栓および排水ホッパーの水抜きキャップを閉める。



●機種により電気温水器本体の形状は異なります

注意

沸上げ運転スイッチが「入」の状態でも配管が凍結する場合は、必ず給水、出水、出湯側の各連結管と排水管に保温材または、ヒーターを巻いてください。